



# あべともこニュース

国の機関による障害者雇用の水増し事件は、他人事ではない



衆議院議員あべともこ  
プロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）  
当選 7 回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこどもクリ  
ニック（湘南台）理事長  
現在、内閣委員会筆頭理事・予算  
委員会委員



[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後  
援会入会のご案内及びボラ  
ンティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依  
存しないあべともこの活動  
は、後援会の年会費やカンパ  
によって支えられています。  
あべともこの活動にご支援頂  
ける方は、お気軽に事務所  
にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592

◆障害者の働く機会を奪って来た国  
障害者雇用促進法に反し、国の33行  
機関の27機関（約8割）が、3470  
人もの人材を水増し登録し、障害者の雇  
用機会を奪っていたと分かりました。  
これは身体や知的障害者の雇用義務  
等を通じて、障害者の職業安定や自立を  
目指す法律です。障害者の雇用率は平成  
30年度までに民間企業（従業員数4  
5・5人以上）で2・2%、国と自治体  
の機関（40人以上）で2・5%と引き  
上げられてきました。  
ところが、例えば水増し数が千人超の  
国税庁では、0・67%しか雇用してい  
ないのに2・47%だと偽っていました。  
衆議院でも36人中20人が水増  
し。参議院でも国会図書館でも同様。  
法府や行政府による裏切り行為です。  
これは小手先の検証にとどめてはな  
りません。障害の有無にかかわらず、個  
人の職業能力と職場をマッチングする  
公務員制度の改革など福祉国家並みの  
抜本策が必要です。

◆強制不妊、やまゆり事件は自分事  
日本は1948年成立の「旧優生保  
護法」で、「不良な子孫の出生を防止す  
る」として、96年に「母体保護法」に  
改定されるまで、障害者等には本人の  
同意なしで不妊手術ができる国でし  
た。実施された「強制不妊」手術数は1  
万6千件以上だとされ、障害者の産み  
育てる喜びすら奪って来た国でした。  
98年には国連自由権規約委員会  
が、2016年には女子差別撤廃委員  
会が被害者へ補償する必要性を勧告し  
ましたが未対応。障害者差別に対する  
反省もなく今日に至りました。今年に  
なり、被害者自らが立ち上がり、全国で  
国家賠償請求訴訟が始まりました。  
知的障害者施設「津久井やまゆり園」  
の元職員が入所者19人を殺害する事  
件は16年に起きました。  
人口の6%（743万人）は障害者。  
今回の事件を、問題の根を社会で共有  
し、前進する為の第一歩にしましょう。



8月28日開催の第3回「障害者雇用水増し問題」野党合同ヒアリング